「グローバル化とJASAへの期待」に関するアンケート報告

隔年ごとに実施しておりますグローバル化とJASAへの期待に関するアンケートにつきまして、ご協力を賜りましたこと、御礼申し上げます。有効回答数は48社で、母数が少ないため会員のグローバル取り組み状況を適切に分析できているとは言い難いが限られた情報より取り纏め、報告させていただきます。

どの地域・国で、どのような展開したいか?

表内の赤が各項目のTOP国（水平方向）
表内の青が各国内のTOP項目（垂直方向）

	中国	韓国	台湾	ベトナム	インド	ミャンマー	フィリピン	タイ	インドネシア	マレーシア	他アジア	欧州	北米	豪州	中近東	その他	合計
海外市場での販売	11	4	6	4	5	2	3	4	3	3	1	6	5	1	1	0	59
人材採用	3	2	5	10	7	2	3	4	2	3	0	1	0	0	0	1	43
オフショア開発	4	1	2	11	4	3	2	4	2	1	0	1	0	0	0	1	36
製造拠点	2	0	3	4	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	13
海外調達	3	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	9
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
合計	24	7	19	30	18	7	8	14	7	8	2	8	6	1	1	2	162

グローバル化の対象として関心のある地域・国

2年前のアンケートでもベトナムと中国が高かったが、さらに今回はインドもUPした。

「グローバル化」展開に対する、近年の変化

人件費の高騰が圧倒的に多く、ほぼすべての国に対しての変化となっている。他国が成長しているのに対し、相対的に日本の成長が停滞しているとみられる。

どの地域・国で、どのような展開をしたいか

海外市場の販売が非常に多い。

・オフショアよりも人材採用のほうが高ポイント
・2年前は中国のポイントが一番高かったが、今回はベトナムが一番高くなっている
・中国、欧州、北米は販売
・ベトナム、ミャンマーは人材
・その他の国は市場、人材が同様のポイント

「貴社人材のグローバル化」への課題

1. 語学力
2. コミュニケーション能力
3. マネージメント力

2年前のアンケートに比べ、異文化理解を課題としている企業が減り、マネージメント力を課題と考える企業が増加した。

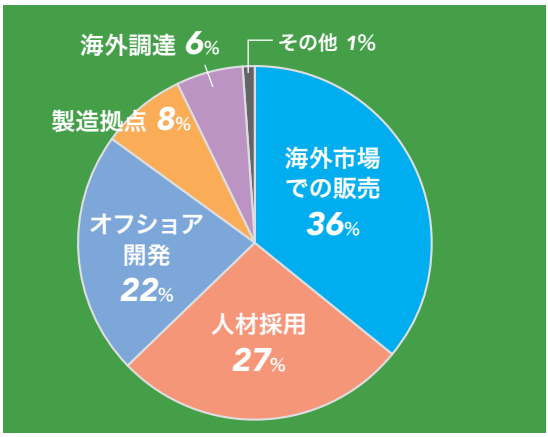
まとめ

●海外市場での販売意欲の高まり
売るものを持っている企業は積極的に海外展開を目指している。

●オフショアへの意欲衰退
請負企業の場合、コストダウン要求でオフショアを進めているが、人件費アップや委託企業が自らオフショアを行うようになりオフショアを拡大する余地が減った。

●海外人材活用意欲の高まり
日本国内での人材不足が耐え切れない状態になってきている。

●会員のグローバルへの意欲が低い
請負中心の企業の場合、国内でビジネスが出来ている。また、オフショアに取り組む必然性が減っている。



JASAグローバルフォーラム2019開催報告

JASA国際委員会委員／
一般社団法人J-TEA
専務理事　大津 健二

ET・IoT Technology展のセミナーとして毎年実施されている、JASAグローバルフォーラムが今回も開催されました。今回は「欧州におけるIoT活用によるDX」と題し、イギリスの欧州連合離脱で揺れるEU、欧州諸国の動向とビジネスチャンスについての講演でした。以下に講演者と講演内容を要約し、報告します。

開会・委員長あいさつ

JASA国際委員会 委員長　廣田 豊
TDIプロダクトソリューション株式会社
代表取締役

毎年恒例となっているJASAグローバルフォーラムは、今回で10回目を迎えることが出来ました。今回は欧州に目を向け、IoTを中心としたEUのデジタル化施策や、各国の動向・取り組みについて、事情に詳しい方々にご講演頂く事にしました。受講いただく皆様方に、少しでも参考になれば幸いです。

廣田豊委員長

基調講演

EUおよび主要加盟国の産業デジタル化への取り組み

日本貿易振興機構（JETRO）海外調査部
欧州ロシアCIS課 課長　田中 晋 氏

EUの欧州委員会などの機関は、現在、新体制へ改選の過渡期にあたり、次期委員長による今後の取り組み方針を示すアジェンダを紹介頂きました。その内容は、環境重視、人にやさしい経済政策、欧州生活様式保全、更なる民主主義の促進などと並び、欧州デジタル化対応を、重点テーマとして挙げています。

EUの産業デジタル化の取り組みは、欧州委員会が2015年にデジタル単一市場戦略を打ち出して以来急速に進められ、次期ステップとなる2021年～2027年には、戦略的デジタル能力の構築と技術の広範な整備促進に、920億ユーロの予算が投じられる計画です。

このようなEU戦略の中で、英国、フランス、ドイツ、その他の国々について、国別に、現状と今後の取り組みについて、詳しく説明を頂き理解を深めることができました。

講演1

チェコ共和国の歴史とビジネス～Embedded business（組込みシステム等）施策～

BellaDati Inc
Managing Director　齊藤 和人 氏

勤務先の本社がチェコにある講演者に、チェコの国とIoTの現状を、お話頂きました。

戦禍にまみれた近年までの歴史を乗り越え、欧州の国としてはまだGDPは小さいが、技術力に関しては優れたものを持ち、第2次世界大戦中はドイツに戦車を供給していました。ロボットの研究も早くからやっており、“Robot”の語源はチェコ語だそうです。

現在はAIやIoTの振興に、国家戦略を策定して力を入れており、通信ネットワークの国土カバー率は100%をすでに達成しています。また大学での専用学習プログラムと企業・投資家との協力体制を強く推進しているとの事です。欧州企業はIoTサービスを外部委託するケースが多く、チェコの会社がその委託先として活躍しているとの事です。

風光明媚で世界遺産の多い観光国としてのイメージだけが大きいチェコに、こんな産業・ビジネスがある事を知る事が出来、有意義なお話でした。

講演2

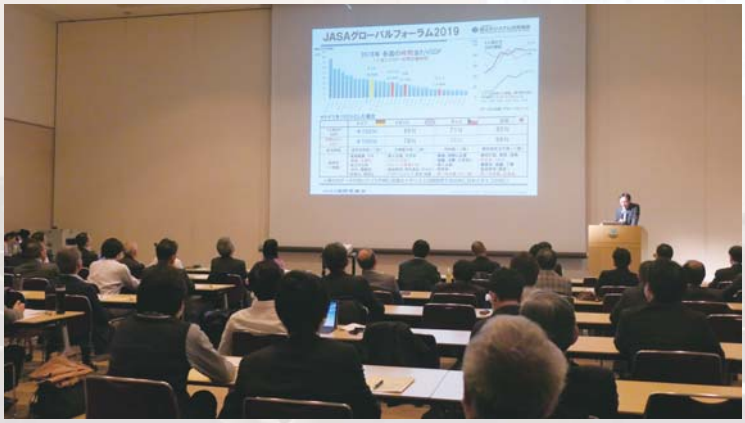
変わるヨーロッパとデジタルトランスフォーメーションの可能性

株式会社ウフル
X United Chief Innovation Officer
八子 知礼 氏

企業がIoTを利用して事業の業績や対象範囲を根底から変化させ、新しいビジネスが生まれる、というデジタルトランスフォーメーション（DX）の概念を分り易く説明頂きました。

DXの取組は、米国、欧州、中国が進んでおり、日本を含むアジア（中国以外）は遅れています。その中で欧州に注目すると、トップを行く英国、そしてドイツ、フランスがこの概念のもとでのIoT産業の3大市場であり、他の国を加え急速に発展している市場です。

IoTはビジネスの隙間をなくす産業技術である事、例えば英国に注目すると、もしEU離脱となった場合、これをリスクとして捉えずに、国家間の境目を埋めるためのビジネスチャンスと捉えるべき、との考え方を述べられ、この真逆の発想が大変印象に残りました。



以上、今回は欧州事情に詳しい講演者3名に的を絞り、じっくりとお話しして頂けるように企画しました。おかげさまで受講者の方々で会場一杯になり、好評をいただくセミナーになったと思います。講演者の方々、そして講演にご協力いただいた方々に感謝いたします。

国際委員会では、今後も更なる委員会活動の活発化を図り、皆様方に役立つ国際情報を発信して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。